

暑さ指数（WBGT）の「見える化」で熱中症を予防 ～見せて、伝えて、気をつけて～

豊島区

令和3年11月10日
中間報告会②

豊島区 人口密度No.1 ～日本一の超高密都市～



豊島区PRキャラクター

なとしまる
なま



豊島区はふくろうが羽を
広げた形に似ています

豊島区 人口密度No.1 ～日本一の超高密都市～



豊島区 地域の特徴及び熱中症対策における課題

地域の特徴



面積 **13.01**km²
 高地 36メートル
 低地 8メートル
 (基準高さ：東京湾平均海水面)



人口 **284,699**人
 内、65歳以上人口 56,959人
 (令和3年10月1日)

- ✓ 気候は、太平洋岸気候区に分類される。夏の高温多湿と冬の少雨乾燥
- ✓ 年平均気温は、1950年頃までは約14℃～15℃で推移していたが、近年は16℃～17℃で推移しており、長期的には上昇傾向にあると考えられている。
- ✓ 豊島区内には住宅を中心に小規模な緑被が多く分布しており、主な緑被地は東部の染井霊園付近、南部の学習院大学と雑司ヶ谷霊園付近に分布している。また、池袋駅周辺では屋上緑化も見受けられる。
- ✓ 豊島区の**75歳以上人口に占める一人暮らしの割合は全国区市1位**
- ✓ 一人暮らし割合が高い自治体は、生活利便度が高く、狭小住戸が多い傾向

	豊島区割合	全国区市ランキング (平成27年国勢調査)				
全世代	38.4%	①新宿区	②豊島区	③渋谷区	④中野区	⑤千代田区
65歳未満	39.5%	①新宿区	②豊島区	③渋谷区	④中野区	⑤千代田区
65歳以上	33.8%	①渋谷区	②豊島区	③新宿区	④杉並区	⑤中野区
75歳以上	37.0%	①豊島区	②渋谷区	③杉並区	④新宿区	⑤千代田区

75歳以上 全国区市割合	
23区平均	29.3%
全国平均	19.8%

熱中症対策における課題

- ✓ 民生委員による戸別訪問や、リーフレットの配付、ウェブサイトでの熱中症対策の啓発を実施
 - さらに**広く周知していく取組**が必要
- ✓ 暑さの感じ方は個人差があるため、予防行動にも個人差がある。
 - 暑さ指数（WBGT）を計測し、**「見える化」した暑さを啓発に活用**
 - 収集した地域毎の暑さ指数の傾向等も踏まえた効果的な対策方法も検討

豊島区 モデル事業概要（1）

事業タイトル： 暑さ指数（WBGT）の「見える化」で熱中症を予防 ～見せて、伝えて、気をつけて～

- ① 区民ひろば、体育施設等で暑さ指数（WBGT）を計測し、指数を掲示することによる**熱中症リスクを「見える化」**
- ② チラシ配布による注意喚起、熱中症対策セミナー及びアンケート調査の実施による**啓発活動**とその効果測定
- ③ 収集したデータを活用し、エリアや時間等による**熱中症リスクを評価**

共同実施者	役割
株式会社タニタ	・ 暑さ指数（WBGT）計、タブレット端末の提供・保守 ・ タブレット表示用システムの整備・運用 ・ 熱中症対策セミナーの開催（講師）、アンケート調査実施・集計・分析 ・ 熱中症リスクの評価

本事業における指標（KPI）

✓ ① 暑さ指数データの収集

- ・ 計測地点14か所での対策の基礎となる暑さ指数（WBGT）の見える化
- ・ 屋内外、日なた、日陰との差を数値化
- ・ 熱中症警戒アラートとの差分検証

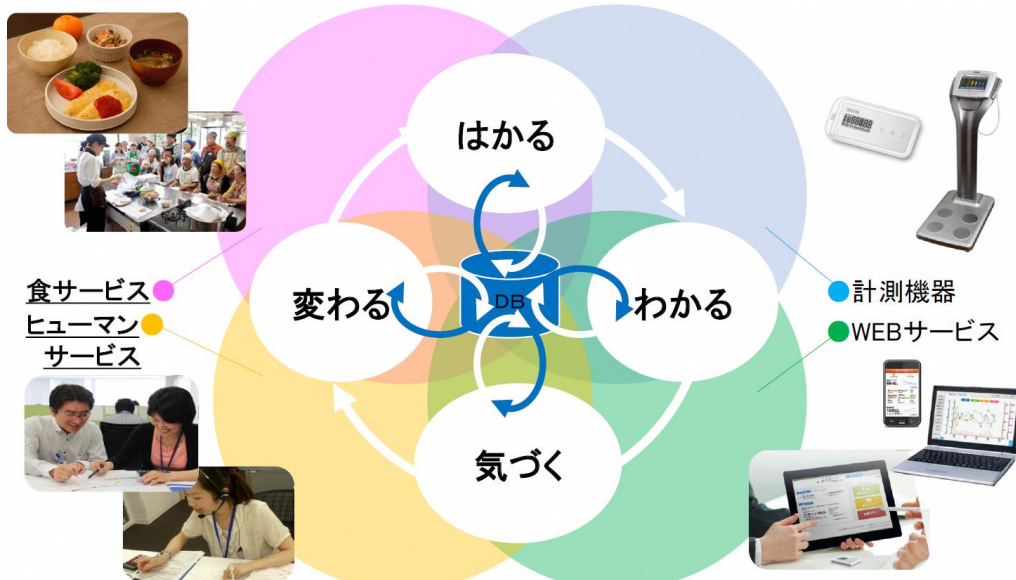
✓ ② 啓発活動

- ・ セミナー受講者の50%以上に熱中症予防に関する知識等の新たな習得（アンケートの実施により増加率を測定する）
- ・ 暑さ指数（WBGT）の認知数延べ22,000件（タブレット設置施設への来館者数）

共同実施者 株式会社タニタ

企業概要

項目	内容
企業名	株式会社タニタ
代表者	代表取締役社長 谷田 千里
所在地	東京都板橋区前野町1-14-2
創業・設立	1923年3月・1944年1月
従業員数	1,200名
資本金	5,100万円
事業内容	家庭用・業務用計測計量機器(体組成計、体重計、クッキングスケール、歩数計、タイマー、電子塩分計、活動量計、血圧計、デジタルカロリースケール、温湿度計)などの製造・販売



歩数増加による医療費抑制効果

1歩あたりの歩数の医療費抑制効果研究

研究機関：筑波大学久野教授

「新潟県見附市の健康運動教室参加者の医療費抑制効果から算出」



**1歩増えると
0.061円/歩/日医療費抑制される**

例えば、1日2000歩増加すると **122円**
1年間で継続で **44,530円**の抑制効果あり

豊島区 モデル事業概要（2）

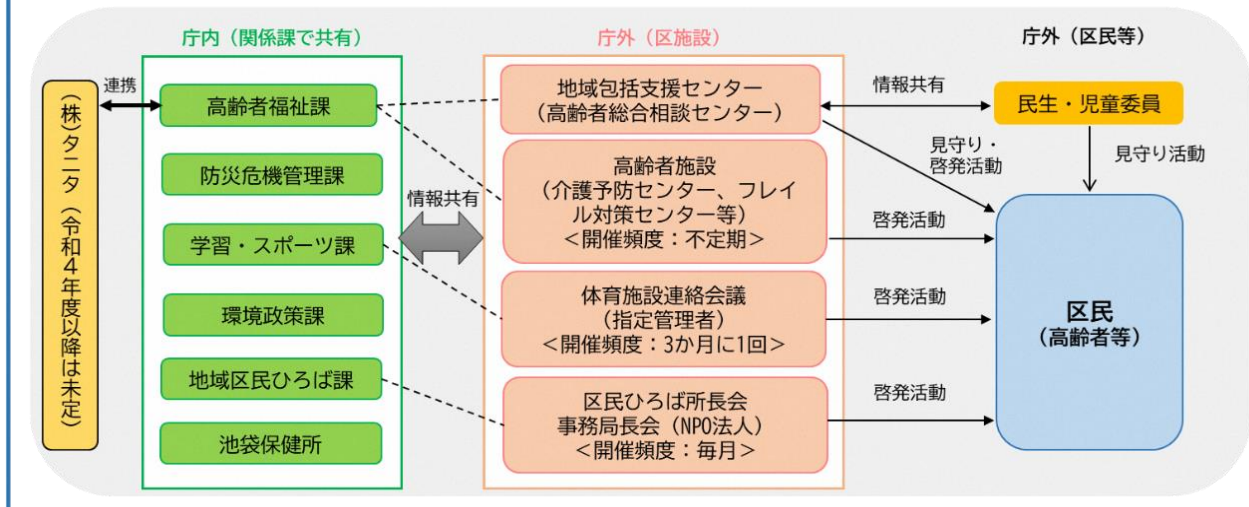
連携体制



熱中症データの共有

内外関係者との連携

データの分析結果等を庁内外で共有し、全庁的に熱中症対策を推進する



- ✓ 熱中症データの分析結果等を踏まえ、区民や来館者に対して地域別の特性を周知 ⇒ **区民への意識啓発**
- ✓ 各課（各施設）の事業において熱中症データの利活用等を図る ⇒ **全庁的に熱中症予防を推進**

継続的に熱中症対策に取り組むための総合的な計画の策定

- ✓ 令和4年4月に策定する「2050としまゼロカーボン戦略（仮称）」に熱中症対策の取り組みに係る内容を登載する。

豊島区 モデル事業における熱中症リスク評価及び事業実施内容

熱中症リスクの評価

幅広い世代の区民が利用する地域コミュニティ施設である区民ひろば、区立体育施設、介護予防施設等で暑さ指数（WBGT）計により暑さ指数（WBGT）データを計測・収集し、エリアや時間などによる警戒レベル（危険度）の分布等を把握することで熱中症リスクを評価する。

① 暑熱環境状況の調査

- ✓ 対象施設：区民ひろば、体育施設、介護予防施設等のうち14施設
- ✓ 実施期間：令和3年7月10日～9月30日
- ✓ 測定方法：暑さ指数（WBGT）計（豊島区専用モデル）を、施設の屋上や外階段等に1台ないし2台、14か所・合計20台設置。
データ取得のバックアップのため、既存品も併せて同箇所に設置する。

② エリアごとの熱中症リスクの評価

- ✓ 暑さ指数（WBGT）に応じて警戒レベルを5段階に分け、検出頻度の高さ等により熱中症リスクを評価。
公益財団法人日本スポーツ協会「運動に関する指針」と同値
- ✓ 測定したデータにより、熱中症警戒マップ等を作成する。
- ✓ 環境省の熱中症警戒アラートと実際に区内各地点で計測した暑さ指数（WBGT）を比較分析する。
- ✓ 機器を2台設置している施設では、屋内外または日なた・日陰での熱中症リスクを比較分析する。

豊島区 モデル事業における熱中症リスク評価及び事業実施内容

事業実施内容

① 暑熱環境状況の調査

- ✓ 前頁のとおり
 - 対象施設：区民ひろば、体育施設、介護予防施設等のうち14施設
 - 実施期間：令和3年7月10日～9月30日測定方法：暑さ指数（WBGT）計（豊島区専用モデル）を、施設の屋上や外階段等に1台ないし2台、14か所・合計20台設置。
 - データ取得のバックアップのため、既存品も併せて同箇所に設置する。

② 暑さ指数（WBGT）に応じた注意喚起

- ✓ タブレット端末を活用した警戒レベル（危険度）の表示による注意喚起

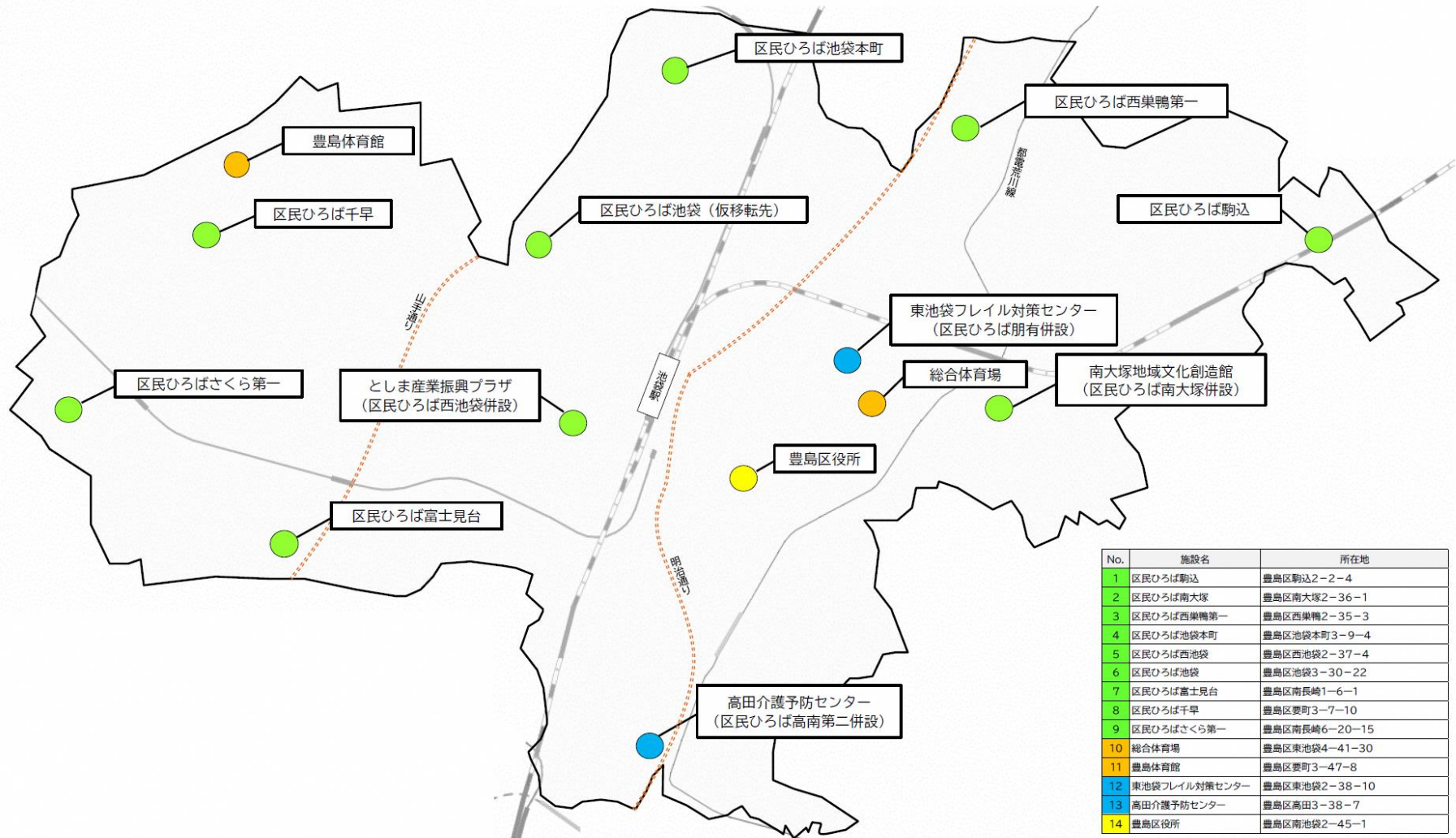
③ セミナー等の啓発活動

- ✓ 熱中症の基礎知識・症状、予防に効果的な食事・栄養面に関する講義を実施、熱中症対策チラシの作成・配布
- ✓ 熱中症対策セミナーでのアンケート調査・分析

④ 暑さ指数（WBGT）の活用に関する意見交換

- ✓ 区民ひろば所長会・事務局長会、区立体育施設の指定管理者との体育施設連絡会議において、熱中症警戒アラートと実際に豊島区で計測した暑さ指数（WBGT）データの比較結果を共有するなど、今後の活用等について意見交換を行う。

暑さ指数（WBGT）計 設置場所一覧



14か所 合計20台設置（屋外のみ／屋内・屋外／日なた・日陰）

豊島区 モデル事業実施結果 - ①暑熱環境状況の調査

暑さ指数（WBGT）の測定

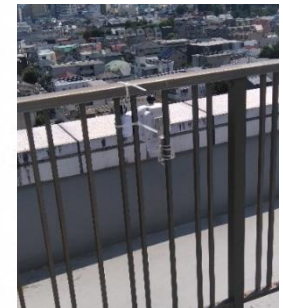
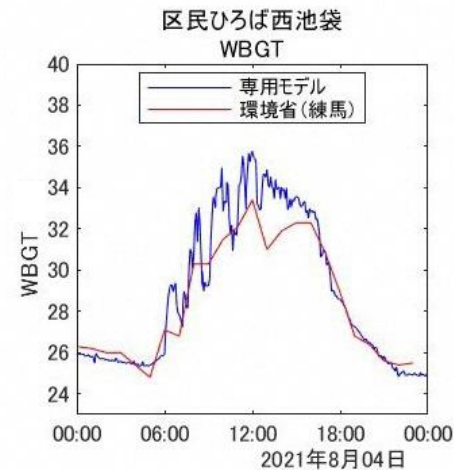
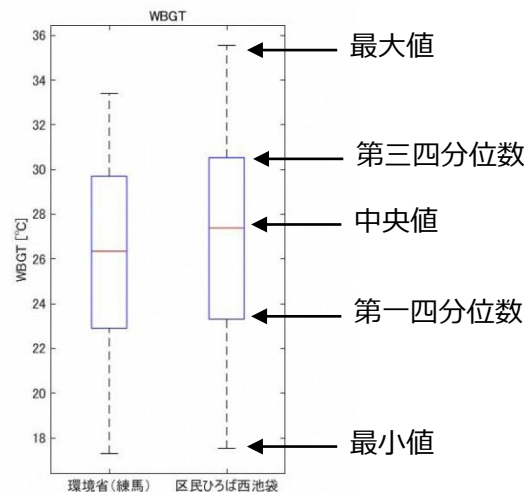
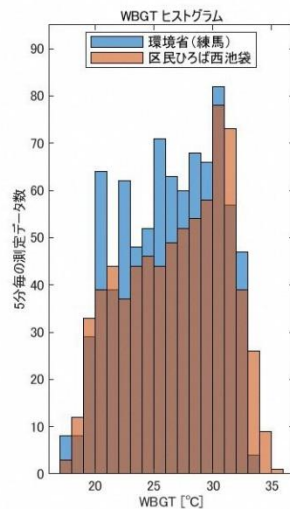
➤ 環境省の測定データとの比較分析

環境省（練馬）のデータはアメダスで測定された温湿度などから、暑さ指数（WBGT）を推定している。

豊島区では黒球付きの暑さ指数計を、建物の屋上や外階段など生活の場に近い場所に設置し、暑さ指数を測定した。

すべての測定場所のうち、5地点（区民ひろば西池袋、区民ひろば池袋、区民ひろばさくら第一、区民ひろば池袋本町、豊島体育館）では有意に環境省（練馬）で測定されたデータよりも暑さ指数（WBGT）が高い傾向がみられた。

上記の地点では差が2以上となり暑さ指数（WBGT）33を超える時間帯もあり、**熱中症警戒アラートが発表されていない日でも注意が必要**であるとわかった。



機器設置イメージ

7～9月の日中の測定データについて検証
マン・ホイットニーのU検定 $p < 0.01$
有意差あり

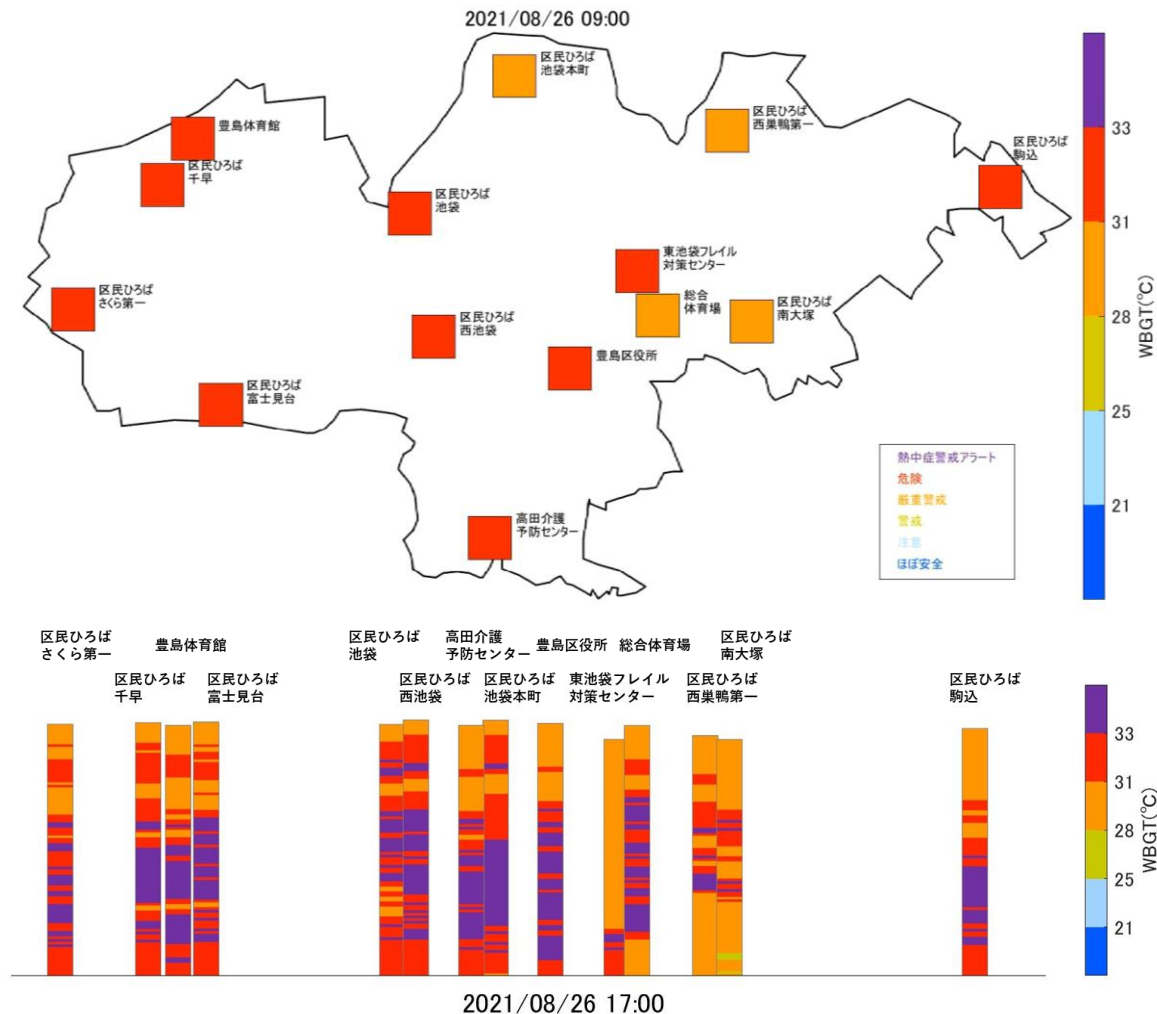
区民ひろば西池袋の
方が中央値が高い

8月4日 区民ひろば西池袋
環境省データとの比較

豊島区 モデル事業実施結果 - ①暑熱環境状況の調査

暑さ指数（WBGT）の測定

- 測定したデータにより、場所ごとに危険な時間帯を示すマップを作成



豊島区 モデル事業実施結果 - ①暑熱環境状況の調査

暑さ指数（WBGT）の測定

➤ エリアによる危険性の比較検証

地図上で東西にわけたデータで比較したところ、西側の地域では暑さ指数（WBGT）が高くなることが示された。

東側…区民ひろば駒込、区民ひろば南大塚、区民ひろば西巣鴨第一、

総合体育場、東池袋フレイルセンター、豊島区役所、区民ひろば池袋本町

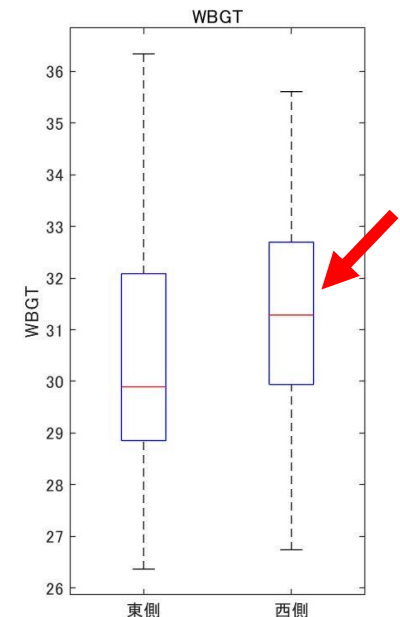
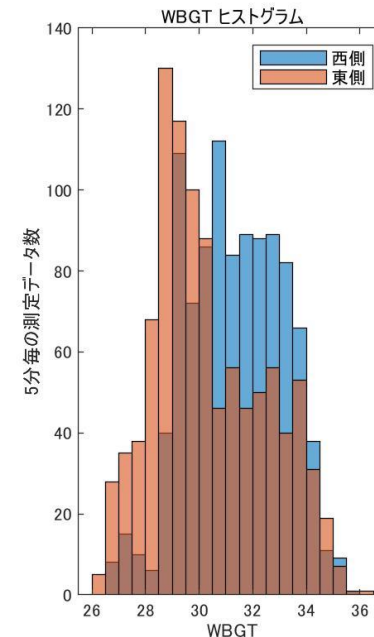
西側…高田介護予防センター、区民ひろば西池袋、区民ひろば池袋、区民ひろば富士見台、

豊島体育館、区民ひろば千早、区民ひろばさくら第一

✓ **西側で測定された暑さ指数（WBGT）の方が高い傾向を示した**

8月26日
6～18時のデータについて検証

マン・ホイットニーのU検定 $p < 0.01$
有意差あり



豊島区 モデル事業実施結果 - ①暑熱環境状況の調査

暑さ指数（WBGT）の測定

➤ 日なた・日陰での熱中症リスクの比較

日なた・日陰に設置した4施設ではいずれも有意差があった。

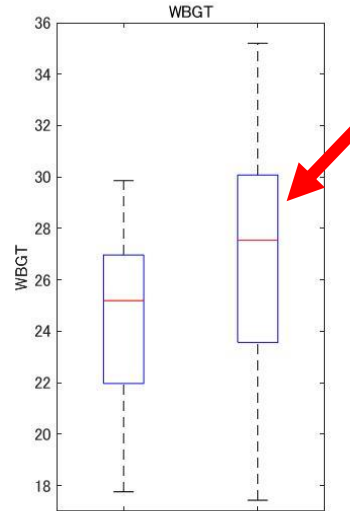
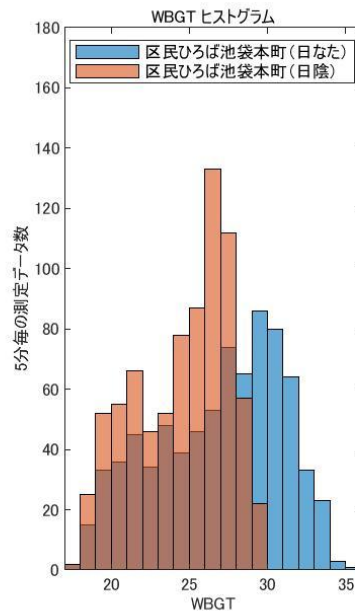
このうち区民ひろば池袋本町では**日なたのほうが**日中は暑さ指数（WBGT）が**平均2.3、最大で7.0**高くなる。



日なた

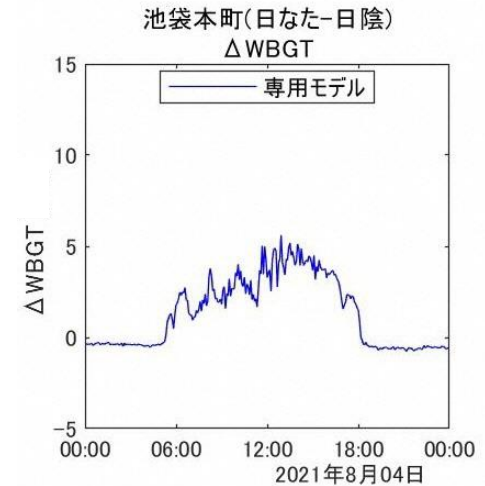


日陰



区民ひろば池袋本町(日陰)
区民ひろば池袋本町(日なた)

7～9月の日中の測定データについて検証
マン・ホイットニーのU検定 $p < 0.01$
有意差あり



8月4日 区民ひろば池袋本町
日なたと日陰の暑さ指数（WBGT）の差

豊島区 モデル事業実施結果 - ①暑熱環境状況の調査

暑さ指数（WBGT）の測定

➤ 屋内・屋外での熱中症リスクの比較

屋内・屋外に設置した2施設（体育施設）ではいずれも有意差があった。

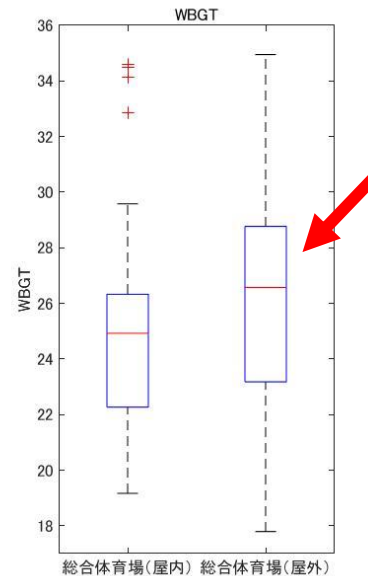
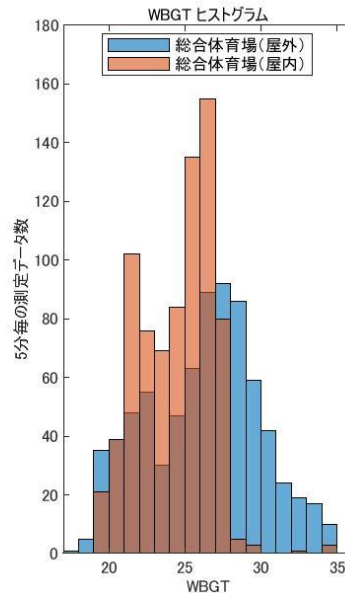
このうち総合体育場では**屋外のほうが**日中は暑さ指数（WBGT）が平均1.9、**最大で7.7**高くなる。



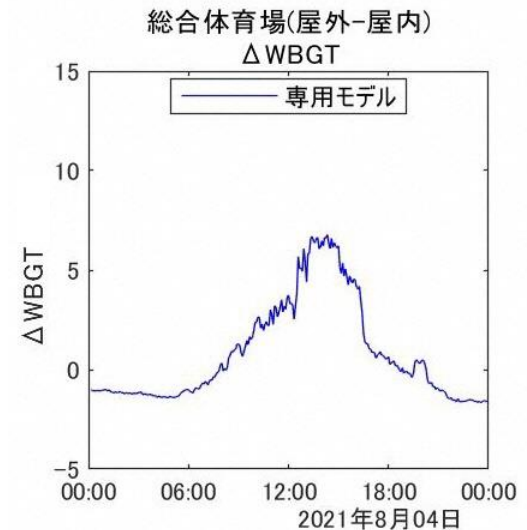
屋外



屋内



7～9月の日中の測定データについて検証
マン・ホイットニーのU検定 $p < 0.01$
有意差あり



8月4日 総合体育場
屋外と屋内の暑さ指数（WBGT）の差

豊島区 モデル事業実施結果 - ②暑さ指数（WBGT）に応じた注意喚起

熱中症リスクの見える化

- 各施設にタブレット端末を設置し、暑さ指数に応じた**警戒レベル（危険度）**をリアルタイムで**5段階表示**することでリスクを見える化
 - 窓口やロビー等、利用者の目につきやすい場所に設置し、画像（背景色・顔イラストが数値により変化）で視覚的に表示することで、危険度を分かりやすく伝え、暑さ指数（WBGT）に関する認知度や対策意識の向上を図った。

警戒レベル表示（5段階）



タブレット設置状況



暑さ指数（WBGT）の延べ認知数（タブレット設置施設への来館者数）
【対象期間：7～9月】

区民ひろば（9施設）	48,158名
体育施設（2施設）	45,634名
介護予防施設（2施設）	6,326名
合計	100,118名

豊島区 モデル事業実施結果 - ③セミナー等の啓発活動

熱中症対策セミナーの実施

- 暑さ指数（WBGT）の計測地点のうち4施設において、熱中症対策セミナーを実施
 - セミナー受講の前後でアンケート調査を実施し、熱中症に関する意識変化等の効果検証を行った。
 - 熱中症の**基礎知識や症状**に加えて、**食事や栄養面など身近な話題**に合わせて講義を行うことで、多くの区民の興味を引き、参加者を集めることができた。また、そうしたセミナー構成だったことで熱中症の知識が身に付き、暑さ指数に関する理解促進にもつながった。

広報としま 7/21号 掲載記事

**食と健康、熱中症予防に関する
高齢者向けセミナー
「熱中症に負けない体づくり」**

◇熱中症予防に役立つ食事や対策方法を学び、熱中症になりにくい体をつくる。講師…梶タニタ／西澤美幸氏、森 運香氏

日にち	時間	場所	定員	電話番号
7月28日(木)	午後1時30分～2時30分	高田介護予防センター	14名	☎3590-8116
8月3日(水)	午後1時30分～2時30分	区民ひろば千早	40名	☎3959-2281
8月5日(木)	午前10時45分～11時45分	東池袋フレイル対策センター	20名	☎5924-6212
8月6日(金)	午前11時～正午	区民ひろば駒込	25名	☎3917-9873

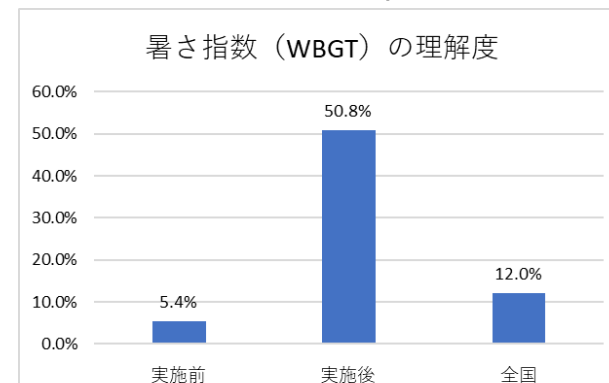
☎電話で各会場へ先着順。
☎高齢者事業グループ☎4566-2432

セミナーの様子（左：東池袋フレイル対策センター / 右：区民ひろば千早）



セミナー参加者		83名
内、アンケート回収		80名
性別	女性	74名
	男性	6名
年代	50代	1名
	60代	3名
	70代以上	76名

アンケート実施結果（一例）



豊島区 モデル事業実施結果 - ③セミナー等の啓発活動

熱中症対策チラシの作成・配付

- 熱中症対策チラシを作成。チラシの配付だけではなく、様々な媒体で啓発活動を行った。

熱中症対策に関する
啓発チラシ作成



5,000部配布

配布先：区民ひろば、体育施設、図書館、
シルバー人材センター会員等

SDGs 未来都市としま
豊島区 TOSHIMA CITY SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
豊島区は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

熱中症対策

熱中症は知っていれば防ぐことができます。
熱中症について正しく学んで、熱中症事故を防ぎましょう！

熱中症の主な症状

重症度 I	重症度 II	重症度 III
☐ 手足にしびれがある ☐ めまい・立ちくらみがある ☐ 気分が悪くぼーっとする ☐ こむら返りがある	☐ 頭痛がある ☐ 吐き気がする ☐ 嘔吐がある ☐ 体がだるい ☐ 意識が何となくおかしい	☐ 意識が無い ☐ けいれんする ☐ 返事がおかしい ☐ まっすぐ歩けない ☐ 体が熱い

涼しいところで一休み。
水分・塩分を補給しましょう。誰かがついて見守り、良くなければ病院へ。

I度の熱に加え、衣服をゆるめ、体を積極的に冷やしましょう。

救急車を呼び、最寄りの病院に搬送しましょう。

出典：熱中症準備マニュアルより

このような症状が出たら“危険”です。

重症度に応じて、正しい対応を行うことが大切です。

熱中症の予防・対策



エアコンを使う(日中だけでなく夜間や就寝時も)

高齢者の熱中症の多くが、自宅で発症しています。



水分・塩分補給

脱水を防ぐため、こまめに水分を補給しましょう。
汗をかいた場合は、適度な塩分補給も大切です。



体調管理と食事

豚肉(ビタミンB1)、海藻類(カリウム)、梅干し(クエン酸)を食べるのが効果的です。



熱中症対策品の活用

屋外に出る際は、暑さ指数計、帽子、日傘を積極的に使用しましょう。常に暑さ指数に注意することが大切です。

熱中症警戒アラート

熱中症警戒アラートは、危険な暑さへの注意を呼びかける情報です。**暑さ指数(WBGT)33以上**を基準とし、熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境になると予想される日の前日夕方または当日早朝に、都道府県ごと^{※1}に発表されます。^{※1} 北海道、鹿児島、沖縄は府県単位単位 出典：気象庁

暑さ指数とは？
(WBGT)

暑さ指数(WBGT:湿球黒球温度)とは、人間の熱バランスに影響の大きい**気温・湿度・放射熱^{※2}**の3つを採り入れた温度の指標です。
^{※2} 放射熱とは、日射しを浴びたときに受ける熱や、地面、建物、人体などから出ている熱です。

暑さ指数 =
(WBGT)

1 温度

7 湿度

2 放射熱

暑さ指数
(WBGT)

危険
(31以上)

厳重警戒
(28～31)

警戒
(25～28)

注意
(21～25)

ほぼ安全
(21未満)

出典：気象庁「熱中症予防情報サイト」より



豊島区 保健福祉部 高齢者福祉課

〒171-8422 東京都豊島区南池袋2-45-1
TEL.03-4566-2432

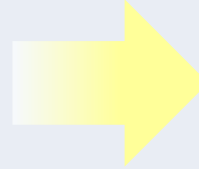


株式会社 タニタ

〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2
TEL.03(3558)8111(代表)

豊島区 モデル事業実施結果 - ③セミナー等の啓発活動

区ウェブサイトのトップ
に掲載
(8月6日から9月30日まで)



ページビュー数 438件
(前2ヶ月比 約2倍)



豊島区 モデル事業実施結果 - ③セミナー等の啓発活動

としまケーブルテレビでの啓発 (8月7日から9月26日まで)



本庁舎デジタルサイネージの掲出 (8月10日から9月30日まで)



豊島区 モデル事業におけるまとめ

本事業における指標（KPI）（再掲）

① 暑さ指数データの収集

- ・ 計測地点14か所での対策の基礎となる暑さ指数（WBGT）の収集・見える化
- ・ 屋内外、日なた・日陰との差を数値化
- ・ 熱中症警戒アラートとの差分検証

② 啓発活動

- ・ セミナー受講者の50%以上に熱中症予防に関する知識等の新たな習得（アンケートの実施により、増加率を測定）
- ・ 暑さ指数（WBGT）の認知数延べ22,000件（タブレット設置施設への来館者数）

指標（KPI）に対する現状の結果

✓ 暑さ指数データの収集結果

- ・ 機器については、本事業の専用モデルとタニタ既存品（TC-310）の2台1セットとし、14か所のうち4か所で日なた・日陰、2か所で屋内・屋外、8か所で屋外（日なたのみ）の合計20セットを設置し、7/10～9/30の期間に暑さ指数（WBGT）を計測・収集した。
- ・ 運動施設の屋内・屋外で比較すると、日中の暑さ指数（WBGT）の差は**最大7.7屋外の方が高い**ことが分かった。
また、日なた・日陰では、**日陰の方が日中2ほど低い**結果となった。
- ・ 熱中症警戒アラート発表日には、計測地点のほとんどで暑さ指数（WBGT）33℃以上となり、**アラート未発表日でも計測地点によってはアラート発表基準（暑さ指数33）を上回る地点もあった。**

✓ セミナー受講前後での熱中症予防に関する知識等の増加（アンケート回答者：80名）

- ・ 暑さ指数（WBGT）について理解できた・・・**50.8%** / 熱中症警戒アラートについて理解できた・・・**60.3%**

✓ タブレット設置施設への来館者のうち、暑さ指数（WBGT）の延べ認知数：100,118件（名）

本事業を通して得られた事

- ✓ 同じ**豊島区内でも、測定地点によって暑さ指数（WBGT）が異なる**ことが示され、きめ細かい暑さ指数データの取得が、地域特性に応じた効果的な注意喚起を図るうえで必要であることが分かった。
- ✓ 区民が日頃利用する施設で熱中症リスクの**見える化**を図るとともに、啓発チラシの配布、**セミナーの開催**により、多くの区民に**熱中症予防に対する意識向上**を促すとともに、**暑さ指数（WBGT）や熱中症警戒アラートの認知度向上**を図ることができた。

豊島区 熱中症警戒アラート・暑さ指数（WBGT）に関する取組み（1）

事前周知（暑さ指数・アラートの普及）方法

- ・ 夏季に民生委員・児童委員が一人暮らし高齢者等への戸別訪問を実施し、熱中症予防の呼びかけ等を行う際、チラシを配付し周知・啓発を行う。
- ・ 区役所本庁舎、区民ひろば、体育施設、介護予防施設等でチラシを配架し、来庁者・施設利用者に対して周知・啓発を行う。
- ・ 豊島区ホームページやTwitter、区役所本庁舎内のデジタルサイネージ等を活用し、熱中症対策情報を発信する。

その他、熱中症警戒アラート発表時の対応等については、本モデル事業で得られた知見及び成果をもとに検討し、令和4年に作成する『2050としまゼロカーボン戦略（仮称）』の中で方向性を示すことを想定

チラシ（出典：環境省熱中症予防情報サイト）



豊島区Twitter



豊島区ホームページ



デジタルサイネージ

豊島区 熱中症警戒アラート・暑さ指数（WBGT）に関する取組み（2）

熱中症警戒アラート発表時の対応

暑さ指数（WBGT）の数値（または熱中症警戒アラート情報）



数値・情報を適宜確認し、各部署（所管施設）ごとに個別対応

関係部署

高齢者福祉課
（地域包括支援センター）

地域区民ひろば課
（区民ひろば）

学習・スポーツ課
（体育施設）

教育委員会
（小・中学校）

保育課
（保育園）

池袋保健所

- 熱中症警戒アラート発表時の対応や活用方法については、本モデル事業で得られた知見及び成果をもとに検討し、令和4年4月に策定する『2050としまゼロカーボン戦略（仮称）』の中で方向性を示すことを想定している。
- 現状の取り組み

部署名（所管施設）	基準	措置
地域区民ひろば課（区民ひろば）	気温＋水温が65℃以上 / 気温が36℃以上	水遊びを中止する
学習・スポーツ課（体育施設）	暑さ指数（WBGT）が28超	利用を中止するよう指導（利用料は返金）
	暑さ指数（WBGT）が31以上	原則利用中止（利用料は返金）
教育委員会（小・中学校）	「熱中症予防のための運動指針」（※）に準拠	屋外運動の実施可否、方法等を各校で検討
	暑さ指数（WBGT）が28以上	校庭開放中止
保育課（保育園）	熱中症警戒アラート発表時	原則園外での活動は中止
	気温＋水温が65℃超 / 気温が35℃	プール遊びは原則中止

（※）公益財団法人日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」（2019）より

ご清聴ありがとうございました。



豊島区 参考資料：モデル事業実施スケジュール

	令和3年									令和4年			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
事業全体													
	●請負業者との打ち合わせ (スケジュール、実施要領作成)	●熱中症システムの全体構成作成					●中間報告書を作成・提出		●最終報告書を作成・提出	●環境省の検討会における成果報告。その結果を踏まえ、計画や報告書を修正			
熱中症リスクの評価													
		●請負業者試作開始 ●設置場所の選定と実施内容調整	●現地確認、設置場所の確定	●暑さ指数計によるデータ計測			●計測データの取りまとめ・分析、課題抽出等	●対策方法等の検討（暑さ指数等の活用）					
地方公共団体内外の関係者との連携による熱中症対策実施のための体制構築													
		●関係者に対する実施目的・内容の説明 (庁内の熱中症計設置施設所管課、防災危機管理課、環境政策課、健康推進課（保健所）)	●庁内関係課への情報共有（進捗状況等）	●庁外（区施設）の施設長会・連絡会での情報共有【随時】→ 関係施設から区民へ周知・啓発			●庁内関係課への計測結果・課題等の共有、意見交換						※既存の枠組み（施設長会・連絡会等）を活用することを視野に体制構築し、翌年度以降も連携を図る
熱中症対策に取り組むための総合的計画の策定													
			●構成・内容の検討	●素案作成				●審議会の開催・審議					●計画策定
令和3年度に実施・試行する事業													
		●チラシ作成	●現場状況確認、呼びかけの強化 ●セミナー開催、アンケートの実施 ●チラシの配布・掲示				●関係者の意見等を踏まえ、具体的な対策を検証						